

現実と向き合い、今を生きる 農場実習・里帰り・高校卒業試験結果



たくさんの学びをありがとうございました

皆様こんにちは。木々の葉も美しく色づき始め、肌寒く感じる頃でしょうか。

今年はさまざまなイベントがあり、子どもたちは充実した休暇を過ごしています。しかし園での子どもたちは、時間を守らなかったり、農作業中に遊んだり、休みに入っているせいか少し気が緩んでいる気がします。園の約束を確認し、規則正しい生活を送り、11月からの新学年に備えてもらいたいです。

今回のDREAM通信では、農場実習とお盆帰省の様子、高校卒業試験の結果をお伝えいたします。

SAJファーム農場実習

今年もコンポンチュナン州にあるSAJファームにて農場実習をさせていただきました。4つのグループが5日間ずつ農場に住み込み、レモングラスの収穫や選別、田植え等の作業をさせていただきました。その他実習中の食材の買い出しや調理も全て自分たちで行います。

陽射しの強い中での作業はとても根気のいる作業ですが、皆で協力し合い集中して取り組みました。また、農場職員ともよくコミュニケーションをとり、和やかな雰囲気の中で実習を行うことが出来ました。

実習後のミーティングでは「とても貴重な経験をすることが出来た」「仕事を頑張った後の食事はとても美味しかった」「農業の仕事の大変さと厳しさを知った」等、感想がたくさん上がりました。また、去年の実習では問題が多く反省点が多かったのですが、今回は大きな問題もなく、農場職員から「一生懸命手伝ってくれていた」とお褒めの言葉をいただきました。この1年間での成長が見えて嬉しかったです。

実習を通して、農業の大切さや日々の食事のありがたさをより感じる事が出来たと思います。

これからも子どもたちにはいろんなことを経験してもらい、自分の好きなことや得意なことを見つけて、将来に活かしてほしいと思います。



レモングラスの収穫



オイルの抽出の説明を真剣に聞きます

クメールお盆一時帰省

クメールお盆に合わせて9月13日と14日の2日間に分かれ、育ての親の元へ約一週間の里帰りをしました。

帰省は、離れて暮らす育ての親に会って成長した姿を見せ、園での生活や将来についてよく話し合ってもらいたいということ、入園する前の生活を思い出し、園で何不自由なく生活出来ていることは当たり前ではないということを忘れない為という大切な意味が込められています。

職員から育ての親に、子どもの園での様子や学校の成績を報告し、家で指導してほしいことを伝えます。

帰省が終わり育ての親から「弟たちの面倒を良く見てくれた」「家の周りの木を切ってくれた、普段私では出来ないことをしてくれて助かった」という嬉しい報告や、中には「家では寝てばかりいた」という残念な報告もありました。

家に帰る当日に浮かない顔をしている子や、家で何をしたのか聞いても「何もしていない」と返事が返ってくる子もいます。帰省は誰にとっても嬉しいことではないという現実があります。

今回の帰省で、今まで育ててもらった育ての親や今の生活に感謝し、自分を見直すことが出来たと思います。

帰省から戻り、また新たな気持ちで、自分の将来についてしっかりと考え、より一層充実した生活を送って欲しいと思います。

卒園生卒業試験結果

8月に行われた高校卒業試験の結果が発表されました。今年は5人全員が合格し、無事に高校を卒業することが出来ました。しかし、結果は決して良いわけではありません。得点が高い順からA～Eに分けられますが、5人中4人がE、1人がDという結果でした。

カンボジア全体の卒業試験の合格率は63.84%で、子どもたちの通う高校では約半分の子どもたちが不合格という結果でした。高校のクラスで1位を取っていても、カンボジア全体から見れば決して良い成績ではないという厳しい現実を突き付けられました。

次は入試が控えています。高校卒業試験の結果ではなく、今どれだけ必死になって勉強するかで入試の結果、そして将来が大きく変わってきます。

後悔のないように最後までやり抜いてほしいと思います。健闘を祈っています。



「行って来ます」と元気に手を振ります



園での写真を母親にプレゼントします



家族が帰りを待っていてくれました



予備校に通う為プノンペンで共同生活